



インクルーシヴシティ

2025年1月27日

株式会社インクルーシヴシティ

企業の Well-Being を可視化する取り組みについて

株式会社インクルーシヴシティ(福岡市、代表取締役社長:中間 裕一)は、九州大学都市研究センター(センター長:馬奈木 俊介)と共同で、企業の Well-Being の可視化に向けた共同研究を行っていることをお知らせいたします。

本取り組み(以下「本研究」)は、企業が従業員に対して行う施策が Well-Being やワークエンゲージメント(以下「WE」)にどのような影響・効果を与えているか分析・可視化したものです。

人的資本経営が注目される現代社会において、従業員の Well-Being を高める施策は、「離職率の低下」や「営業利益率の向上」に直結し、企業の持続的成長を支える重要な要素です。当社では特に、「仕事満足度と離職率」「WE と営業利益率」との相関を分析し、企業ごとの施策が離職率の低下や営業利益率の改善に与える効果を定量的に算出しています。これにより、企業が実施した施策の影響や効果に対して、データドリブンの意思決定を支援します。

本研究は、株式会社シティアスコム(代表取締役社長:藤本 宏文)と株式会社ワールドインテック(代表取締役社長:栗山 勝宏)の協力のもと実施されており、今後は、得られた成果を基に組織の人的資本を見える化するサービスの実装を目指します。また、企業の Well-Being 向上や人的資本経営の推進にも貢献していきたいと考えています。

・関連リンク

[株式会社シティアスコム](#)

[株式会社ワールドインテック](#)

・参考資料

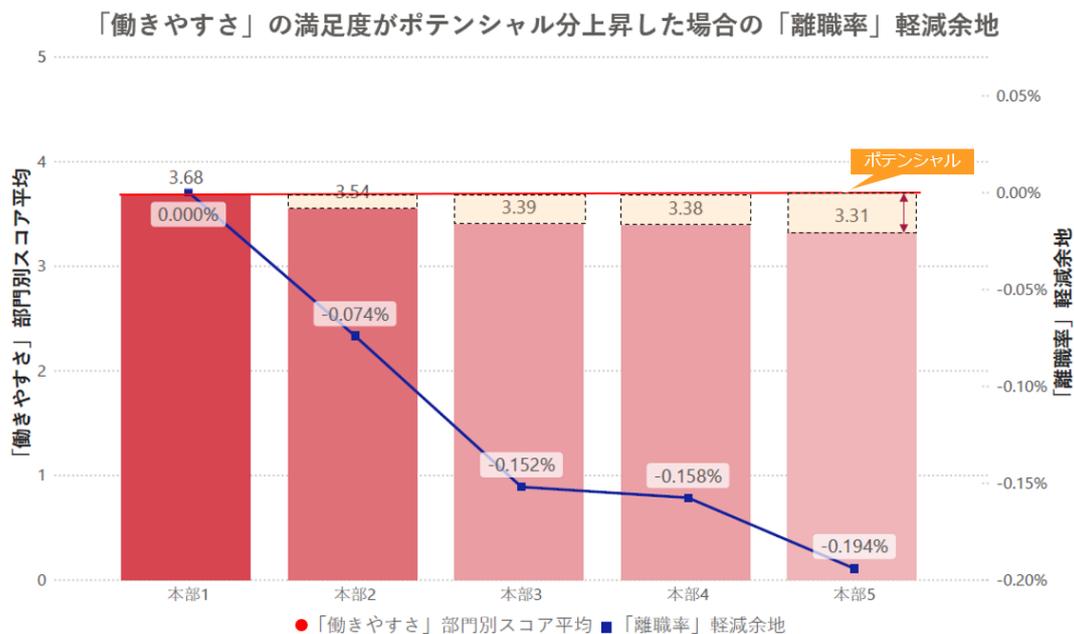
別紙をご参照ください

■ 本件のお問い合わせ先 ■
株式会社インクルーシヴシティ
SDX 事業部 092-852-5103

(別紙)

■ 図1

最も「働きやすさ」の満足度が高い本部との差をポテンシャルと仮定し、「働きやすさ」がそのポテンシャル分上昇した場合に「離職率」がどの程度軽減されるのかを表した図



■ 図2

最も「働きやすさ」の満足度が高い本部との差をポテンシャルと仮定し、「働きやすさ」がそのポテンシャル分上昇した場合に「営業利益率」がどの程度向上するかを表した図

